

## 濟州島の小型哺乳類相

兼松仁郎(長崎総合科学大・生物)

Small mammal fauna of Jeju (Quelpart) Island  
NIRO KANEMATSU

濟州島は長崎市西方約300km, 東経126°, 北緯33°に位置し, 東西80km, 南北40km, 周囲254km, 面積1,811km<sup>2</sup>の韓国最大の島で, 海拔1,950mの漢拏山をもつ。年間気温は長崎地方と大差はない。ヒグマ遺体が発見され, 濟州島が朝鮮半島と陸続していたことを示すが, 活発な火山活動等で哺乳類相は貧弱で, 現生6目10科19種であるという(朴, 1974)。

筆者は, 今夏, 濟州大学の調査に参加して採集標本調査を行い, 3夜にわたり漢拏山麓4地点で2種14頭の野鼠を検査した。

セスジネズミ *Apodemus agrarius* は4雌7雄を調べた。雄はすべて睪丸が下垂して大きく, 成熟を示していた。2雌は発達した乳頭を持っていたが, 他は子宮剖見でも成熟の兆はなかった。平均頭胴長は107.3mm, 平均頭骨最大長は28.9mmで, いずれも従来報告よりやや小さく, 個体差もかなり少なく, この時期のセスジネズミ個体群は, 少なくとも繁殖活動のピークにはなく, 幼獣の盛んな加入はないようである。

キヌゲネズミ *Cricetulus triton* は1雌2雄で, 外部および頭骨の諸計測値は従来記録の範囲内にはばおさまる。雌には明瞭な乳頭が見られ(2・0・2=8)雄1頭は顕著に発達(20×13mm, 1.7g)した睪丸が下垂していた。

ドブネズミ *Rattus norvegicus* の1屍体を島内牧場附近で発見したが, それ以上の高地への *Rattus* の侵入は今回認められなかった。

セスジネズミ, キヌゲネズミの亜種的区分や, 日本野鼠相との生態的対比は, 今後の調査にまかしたい。